

平成 27 年度 第 2 回上三川町地域公共交通会議 議事概要

- 1 開催日時 平成 28 年 1 月 27 日（水） 午前 10 時 00 分～10 時 45 分
- 2 開催場所 上三川町役場 3 階 大会議室
- 3 出席者 会長ほか委員 10 名（うち代理出席者 3 名）

議事要旨

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事

（1）平成 27 年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について
資料 1 及び参考 1 に基づき、事務局から説明。

○主な質疑

委 員：運転免許証返納によりデマンド交通回数券を配布した方はどのくらいいますか。

事務局：平成 26 年 10 月から平成 27 年 9 月までの 12 ヶ月間では 16 名に配布しました。

委 員：小学生の利用者が増えてきているようですが、要因はどういったことでしょうか。

事務局：学童保育と自宅を移動する際に利用する小学生の増加があります。

全会一致で、資料 1 の内容で問題なしとなった。

（2）デマンド交通かみたん号の本格運行及び利用料金の改定について
資料 2 に基づき、事務局から説明。

○主な質疑

委 員：増車に伴い運行経費が増加するため、利用料金の値上げは仕方ないと思いますが、利用人数の少ない小学生の料金は収益にあまり影響

ないのではないのでしょうか。

事務局：確かに、収益にあまり影響ないとの考えも一理ありますが、今回、大人子供問わず一律5割増しの料金設定としました。

委員：料金を値上げした場合、利用者は納得しそうですか。

事務局：昨年9月、利用者、未利用者全ての町民の中から抽出した方にデマンド交通のアンケートを実施し、利用料金についても意向を調査しました。回答者の約7割が料金の値上げに納得しているという結果が出ており、このことも参考にさせていただいております。

委員：2台から3台に増車したことで、稼働率はどのように変化していますか。

事務局：2台の時は満員で運行する機会が多かったですが、3台になり人数に余裕を持って運行しております。3台にしても車の発車回数はいくら減っておらず、稼働率も悪くなっているわけではありません。

委員：満員により予約を断る回数はどうですか。

事務局：お断り回数がゼロとまではいきませんが、かなり減っていますので、予約が取り易くなっています。

全会一致で、本格運行及び利用料金の改正を承認された。

(3) 栃木県が発行する平成28年度版「小学生向け公共交通に関する副読本」に添付されるバス無料券の範囲に上三川町デマンド交通を含めることについて

資料3に基づき、事務局から説明。

○主な質疑

委員：平成27年度のバス無料券の利用状況はどうですか。

事務局：利用はありませんでした。

委員：バス無料券については使われる件数が少なく残念ですが、副読本は多くの小学校の授業で使っており、先生や生徒から好評

を得ております。発行の趣旨としましては、子供の頃から公共交通に慣れ親しんでいただき、今後の移動の選択肢としてバスや鉄道を意識してもらうといった目的がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

全会一致で、バス無料券の範囲に上三川町デマンド交通を含めることを承認された。

4 その他

委員：事故防止の観点から、運行事業者には運転手にしっかりとした安全教育をお願いします。また、万が一事故が発生してしまった場合、すぐに乗客の名前や住所、乗車していた位置を確認し、メモを残すよう指導していただきたい。その後の現場確認やけが人の確認等で必要になる場合があるのでお願いしたい。

委員：現在はユニバーサルデザインのNV200を2台とセダン型のタクシー車両1台で運行していますが、本格運行までにはNV200を3台揃えるよう手配しておりますので、よろしくをお願いします。

委員：軽井沢でバス事故が発生し、運行事業者への国の視線も厳しくなっておりますので、安全安心の運行を心掛けていただきたい。

委員：乗務員には安全運転を心掛けさせます。また、シートベルトは現在、助手席は義務化されていますが、後部座席はされていません。着用していれば防げる事故もあります。後部座席もシートベルトを着用するよう車内に案内を貼ったり乗務員が促したりしていますが、広報誌等でも是非PRしていただきたい。

5 閉会